

# お詫びと訂正

高橋由記

「花を瓶にさすこと——『枕草子』第二〇段に関連して——」  
 (『瞿麦』第三号)をお送りしましたところ、竹鼻續先生から  
 以下のような指摘をいただきました。ここに訂正し、深くお  
 詫び申し上げます。竹鼻先生に厚く御礼申し上げます。

○竹鼻先生の御論文「馬内侍伝の一資料——時明集の作者をめぐって——」(『文学・語学』第十三号・昭和34・9)に関して、引用の仕方に誤りがあること。

○松田安紀子氏の御論文「『馬内侍集』に関する一考察——東三条のはな——」を引用する際、松田氏が「少納言蔵人」を「道方」に比定しているところを、私が誤って「道長」としてしまっていること。

○蔵人兼少納言の男性貴族ならば「蔵人少納言」と記載するのが通例であらうから(『権記』長徳三年七月三十日、『小右記』寛弘八年八月二日)、「少納言蔵人」というのは少納言と呼ばれた女蔵人ではないかということ。

↓三点とも確認しましたが、すべて私の誤りであり、先生にご指摘いただいたとおりでした。第三点に関しましては『権記』『小右記』の記事を確認し、また自分でもその他の史料、『枕草子』(新潮古典集成)の用例を調べましたところ、一六四段「君達は」の段に「蔵人少納言」という記載があり、一七四段「村上の先帝の御時に」の段に「兵衛の蔵人」という女蔵人が登場しており、全く私の早合点でございました。